

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立島屋小学校学校協議会

1 総括についての評価

【安全安心な教育の推進について】

- ・不登校児童の在籍比率が減少した。外部機関との連携やSSW、SCの活用は進んでいるので、今後も継続していく。

【未来を切り拓く学力・体力について】

- ・話し合い活動への取り組みの充実、算数科における基礎基本の定着の徹底、運動好きの児童の割合を増やすための取り組みを継続してもらいたい。

【学びを支える教育環境の充実について】

- ・ICT機器のさらなる活用を目指す。社会見学を通して島屋地域を知る取り組みは深化継続してもらいたい。

2 年度目標ごとの評価

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上(令和6年82.8% 大阪市81.5%)にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

- ・不登校児童の在籍比率が減少、前年度不登校児童の改善の割合が増加している。
- ・計画通り進められ、目標が達成されている。
- ・定期的かつ継続的な児童アンケートの実施、外部人材(SC/SSW)との連携により、組織的な支援体制の構築と機能的な運用が図られていると評価いただいた。
- ・いじめ・いのちについて考える日の設定、いじめアンケートの実施、対応など機能的な運用がされていると評価いただいた。
- ・児童支援委員会の設立とそれに伴った支援体制の構築、児童の様子を関係機関とも共通理解する場が十分に設けることができていると評価いただいた。
- ・児童のあいさつについては、児童の挨拶に関するアンケート、児童の様子からも十分できている。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を47%以上(令和6年度38.8% 大阪市40.5%)にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.1%以上(令和6年度83.2% 大阪市78.7%)にする。

- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、83.5%以上（令和6年度 73.7% 大阪市 76.3%）にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、70.5%以上（令和6年度 70.1% 大阪市 68.9%）にする。

- ・ 島屋タイム月1回の実施が達成され、習熟度に応じたプリント選択や活動内容の工夫ができています。
- ・ 学級での「みんな遊び」や委員会企画の「運動週間」などが実践され、体力向上の工夫が見られる。
- ・ 総合的読解力育成カリキュラムに限らず、様々な教科領域において話し合い活動が実践できています。

**【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の60%以上にする。
- 学校アンケートにおいて、「一人一台端末や大型提示装置を活用して表現する学習は、自分たちのためになっている。（楽しいですか。）」（児童）に対して、肯定的に回答する割合を80%以上にする。
- 「大型提示装置を活用して表現する学習を学期に1回1以上行う。」（教職員）
- 1年間で、有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

- ・ 実生活につながる ICT 機器利用スキル、情報モラル教育、情報リテラシーなどの定着を図っていく必要がある。
- ・ 地域・家庭との連携が様々な交流行事を通じて実施されている。
- ・ 低・中・高学年それぞれの実態に応じて、端末等を効果的に活用できていると評価いただいた。
- ・ 互いに支え合う教職員関係を構築。人材確保や教職員のための環境整備が推進されていると評価いただいた。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 今年度実施された、USJ とのコラボ企画や桜島ゲートパーク企画で児童の絵画作品展示、セルビア共和国との交流や日本製鉄の社会見学など、地域連携行事については、次年度以降も継続性のあるものにできるとよい。